

議会報

第135号

平成23年6月

ぎかいほう

編集・発行 長南町議会広報特別委員会

〒297-0192 千葉県長生郡長南町長南2110 TEL 0475-46-3390（議会事務局）

新しい顔ぶれ



第2回臨時議会

町の花 ベニバナ

- 議長等議会人事が決定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3

第1回定例議会

- 平成23年度予算など23議案を可決・・・・・・・・・・・・ 4～7
- 平成22年度補正予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8～10
- 議会閉会中の継続調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

第1回臨時議会

- 平成23年度補正予算を可決・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11



第2回臨時議会

議長等議会人事が決定

一般選挙後の初議会が5月10日に招集され、議長、副議長をはじめ各常任委員会委員、議会運営委員会委員、議会広報特別委員会委員及び行政委員会の委員等を決定しました。

就任あいさつ



議長
松崎 勲



副議長
石井 正己

はじめに、このたびの東日本大震災で犠牲となられた方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。私どもは、平成23年第2回臨時議会におきまして、議員各位のご推挙を受け、議長並びに副議長に就任いたしました。

身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感している次第でございます。

本年は、第4次総合計画のスタートの年であります。昨年12月の定例議会で議決した計画に示された、「自然が誇り、住むことが誇り、元氣な町長南」の実現に向けての第一歩をしるす重要な年であります。財政環境は依然として厳しい状況ではありますが、防災対策、少子・子育て支援対策、地域活性化対策などの行政課題に的確に対応することが求められております。

議会といたしまして、町民の皆様のご意見やご要望を町政に反映させるため、全力を傾けてまいる所存でございます。

今後とも、町議会に對しまして、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

総務常任委員会

総務課総務室・企画財政室・政策室、住民課税務住民室税務班、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員などに関する事項を所管します。



委員長
森川 剛典



副委員長
鈴木 喜市



委員
松崎 勲



委員
石井 正己

産業建設常任委員会

事業課産業振興室・農業振興室・地域整備室・ガス事業室、農業委員会などに関する事項を所管します。



委員長
加藤 喜男



副委員長
丸島 なか



委員
小幡 安信



委員
板倉 正勝



委員
古市 善輝

教育民生常任委員会

教育委員会、住民課税務住民室国保住民班・保健福祉室などに関する事項を所管します。



委員長
松崎 剛忠



副委員長
大倉 正幸



委員
左 一郎



委員
仁茂田健一



委員
丸 敏光

議会運営委員会委員

― 6名を選任 ―

議会運営委員会は、議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会条例等に関する事項、議長の諮問に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。

委員長	丸 敏光
副委員長	板 倉 正勝
委員	森 川 剛典
委員	加 藤 喜男
委員	石 井 正己
委員	松 崎 剛忠

議会広報特別委員会委員

― 5名を選任 ―

議会広報特別委員会は、議会の内容を広く住民に伝えるため、調査、検討を行い、「ちょうなんまち議会報」を発行するものです。

委員長	丸 島 なか
副委員長	鈴 木 喜市
委員	大 倉 正幸
委員	石 井 正己
委員	松 崎 剛忠

長生郡市広域市町村圏組合議会議員

― 2名が就任 ―

長生郡市広域市町村圏組合は、共同処理することが効果的である水道、廃棄物の処理及び清掃、消防、病院、火葬場・斎場の設置及び管理など郡、市民の生活に密着した業務を行っています。

議長の職にある者
松 崎 勲
議会において選挙された者
松 崎 剛忠

千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員

― 1名を選任 ―

医療制度改革により、75歳以上の高齢者医療については、平成20年4月1日から、県内全市町村が加入する広域連合が運営する独立した保健制度に変わり、千葉県内の市町村から各1名の議員を選出し、高齢者医療の適正な運営を図るものです。

議会において選挙された者

丸 敏光

議会議員会役員

― 7名が就任 ―

議会議員会は、議員の品位識見を高めるとともに、議員相互の親睦を図り、議会の運営を円滑にすることを目的としています。

会長	松 崎 剛忠
副会長	石 井 正己
会計	鈴 木 喜市
監事	丸 敏光
理事	仁 茂 田 健一
理事	丸 島 なか
理事	大 倉 正幸
体育部長	

自治功労表彰を受賞 ～ 議員在職15年以上 ～

町村議会議員として地方自治振興に貢献された功績が認められ、平成23年2月9日に開催された全国町村議会議長会の定期総会において、本町の金杉とみ議員、和田和夫議員、丸 敏光議員の3名が受賞されました。

受賞された3名の議員からは、「15年という月日はとても短く感じ、今日に至りました。これも町民の皆様方のご支援とご協力によるものです。これからも住民福祉向上のため精一杯がんばりたい。」と抱負が述べられました。



左から丸議員、金杉議員、和田議員

町長提出 人事案件

■監査委員の同意

議員の中から選任される監査委員に古市 善輝議員を任命したいとして、町長から提案され、同意しました。

■退職議員の紹介

永年、町発展のためご尽力いただいた今井三郎様、岩崎重良様、吉野明夫様、金杉とみ様、和田和夫様、今関文平衛様、花崎哲也様、古山武夫様の8名が任期満了により退職されました。今後も引き続き地域発展のため、ご活躍されますようご期待申し上げます。

第1回 定例議会

平成23年度各会計当初予算など23議案を可決

平成23年第1回定例議会は、2月25日から3月4日までの8日間の会期で開かれました。

平成23年度当初予算をはじめ平成22年度の補正予算、条例の制定・一部改正、規約の変更協議など23議案を審議しました。また、発議2件が提出され、原案どおり可決しました。

なお、平成23年度一般会計予算については、内容が複雑多岐にわたるため、予算特別委員会を設置し、詳細な審査を行い、審議の結果、全議案原案のとおり可決しました。

また、一般質問は3名の議員が行い、論議が展開されました。

一般会計予算

41億4,300万円

《前年度比 9.6%増》

平成23年度予算は、国の予算編成方針や長南町第4次総合計画や過疎地域自立促進計画に基づき予算が編成されました。編成方針として限りある財源の確保に努めるとともに、施策の優先順位を明確にし、後世に誇れるまちづくりに取り組むことを目標としています。



主な事業は、地上デジタルテレビ放送難視区域の解消に向けての無線共聴施設設置事業をはじめ、介護給付や医療費に対する扶助などとなっています。

【会計別当初予算の内訳】

会 計		平成 23 年度予算額 (千円)	伸率 (%)	
一 般 会 計		4, 1 4 3, 0 0 0	9. 6	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		1, 1 5 8, 8 0 0	0. 9
	後 期 高 齢 者 医 療		9 6, 0 0 0	△ 9. 4
	老 人 保 健		廃 止	
	介 護 保 険		1, 0 5 3, 9 0 0	9. 1
	笠 森 霊 園 事 業		6 8, 6 0 0	5. 5
	農 業 集 落 排 水 事 業		2 4 6, 2 0 0	△ 5. 8
企 業 会 計	ガ ス 事 業	収 益 の 収 入	5 5 4, 1 5 0	△ 2. 1
		収 益 の 支 出	5 5 3, 6 4 3	△ 2. 4
		資 本 の 収 入	6 1, 7 0 8	49. 2
		資 本 の 支 出	2 4 2, 8 1 5	15. 3

質 疑 (要旨)

問 女性特有のがん検診の受診状況について伺います。

答 受診状況は増加傾向にあります。平成23年度からは個別検診も取り入れて、受診率の向上を図りたい

と考えています。

問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について伺います。

答 現在は実施しておりませんが、近隣市町村の状況を踏まえて検討させていただきます。

一般会計予算状況

41億4,300万円

町 債 380,000千円 9.2%

諸収入 77,939千円 1.9%

繰越金 50,000千円 1.2%

繰入金 181,175千円 4.4%

寄附金 100千円 0.0%

財産収入 379千円 0.0%

県支出金

218,496千円 5.3%

国庫支出金

361,307千円 8.7%

使用料及び手数料

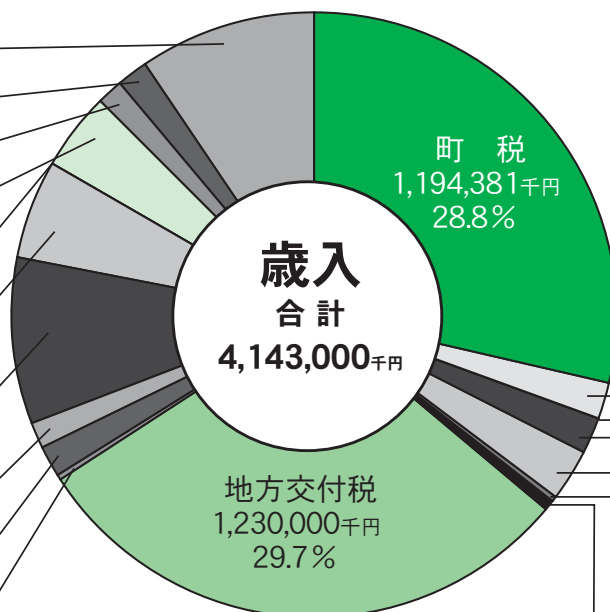
56,869千円 1.4%

分担金及び負担金

77,135千円 1.9%

交通安全対策交付金

2,500千円 0.1%



地方特例交付金 23,000千円 0.6%

自動車取得税交付金 17,000千円 0.4%

ゴルフ場利用税交付金 110,000千円 2.6%

地方消費税交付金 80,000千円 1.9%

利子割交付金 1,219千円 0.0%

配当割交付金 300千円 0.0%

株式等譲渡所得割交付金 200千円 0.0%

地方譲与税 81,000千円 1.9%

予備費 10,000千円 0.2%

諸支出金 62,113千円 1.5%

公債費 461,217千円 11.1%

災害復旧費 4千円 0.0%

教育費 380,299千円 9.2%

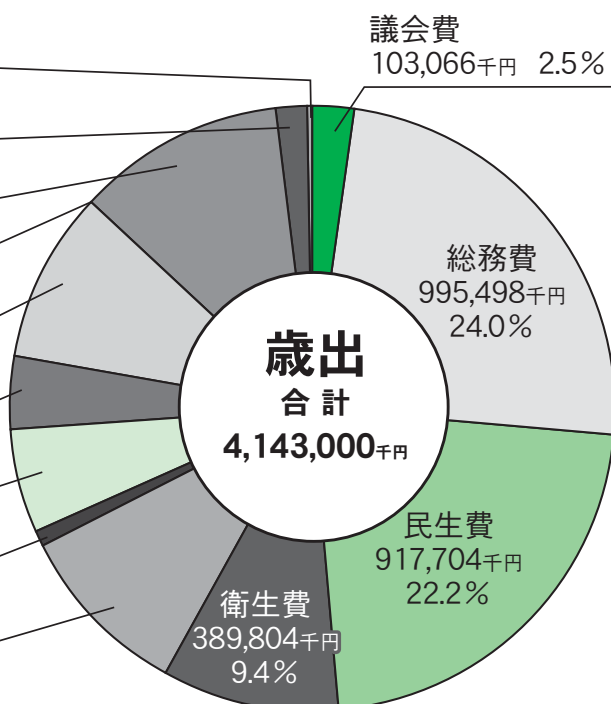
消防費 159,444千円 3.9%

土木費 233,402千円 5.6%

商工費 34,081千円 0.8%

農林水産業費

396,368千円 9.6%



予算特別委員会

委員長 丸 敏光

予算特別委員会は3月1日に議長を除く13名で設置しました。

平成23年度一般会計予算の内容は複雑多岐にわたっており、慎重かつ詳細に審査する必要があり、総務企業、産業建設、教育民生の3つの分科会を設置し、3月2日に執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。3月3日に3分科会の審査結果報告を求め、次の意見・要望を付し、平成23年度一般会計予算は賛成多数をもって、原案のとおりこれを可決すべきものと決定しました。



予算特別委員会による圏央道工事現地視察

意見要望事項

1 本庁舎の耐震補強設計では、二重投資にならないよう配慮し、速やかに推進されたい。

2 地上デジタル放送難視対策として行う無線共聴施設設置については、設置後において、受信できない世帯が発生しないように、事前調査、情報収集に努められたい。

3 地域公共交通総合計画の策定については、現在の巡回バス利用者の利便性を確保しつつ、より多くの住民に利用され、より効率的な交通手段が計画されるよう協議を重ねられたい。

4 いつ起きてもおかしくない大地震に備え、住宅の耐震化を推進することは、住民の生命、財産を守るといふ観点からも重要なことであり、住民が相談しやすい体制づくりを行い、国、県の助成制度を有効に活用し

ながら住宅の耐震化率向上に努められたい。また、災害時に拠点となる公共建築物については、引き続き調査を行い計画的に耐震化が図られるよう努められたい。

5 農業振興地域整備計画策定にあたっては、今後10年間を見据え22年度に実施した耕作放棄地の実態調査内容並びに基盤整備地域の状況を総合的に勘案し、地域の特性に即した計画として、今後の営農推進や農業の振興が図れるものとされたい。

6 利根里地区の基盤整備事業が実施されることで、面的整備に併せ営農組織作りの推進を図り農地の集約等に努められたい。

7 夢を育む事業を進化させる「キラリ輝く長南っ子事業」については、学習意欲の向上と郷土のすばらしさに、関心を深められるよう努められたい。

8 新学習指導要領による外国語活動は、外国語を通じて言語や文化について体験的に理解が深められるよう努められたい。

9 各種予防接種が予定されているが、新たなものを含め対象者の把握、接種の安全等に万全を期されたい。

条例関係

《制定》

■長南町過疎地域自立促進特別事業基金条例

過疎地域の指定による国の財政支援を産業の振興、地域医療の確保、住民の日常的な移動のための交通手段の確保など、住民が将来にわたり安心して暮らすことのできる社会の実現を図るための財源を管理運営する基金条例を新たに制定するものです。

■長南町住民生活に光をそそぐ基金条例

国の緊急総合経済対策とし

て、住民生活にとって大切な分野でありながら、光が十分に当たらなかった分野に対する取組み強化を図るための交付金が創設され、この交付金を管理運営する基金条例を新たに制定するものです。

■長南町地域農業推進基金の設置、管理及び処分に関する条例

全農家参加型の営農組合の確立を目指して耕作放棄地の解消や後継者の育成を図り、地域営農組織の施設整備を推進するための財源を管理運営する基金条例を新たに制定するものです。

■長南町過疎地域固定資産税課税免除条例

過疎地域自立促進特別措置法の規定により、過疎地域に指定されたことに伴い、同法の規定に基づき、「製造の事業」「情報通信技術利用事業」及び「旅館業」に係る設備を新設または、増設した者について固定資産税を3年間免除するため、条例を制定するものです。

《一部改正》

■職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例

長南町一般職の職員の給与等に関する条例の改正に伴い、7級以上、55歳を超える職員に対する給料等の減額に係る条例の一部を改正するものです。

■長南町国民健康保険条例

平成21年10月から平成23年3月までの間、暫定的に引き上げた出産育児一時金の支給額42万円について、平成23年4月から恒久化するため条例の一部を改正するものです。

《一部事務組合に関する協議》

■千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

組合の組織団体である「館山市及び南房総市学校給食組合」の解散に伴い、組合規約の一部を改正することについて協議するものです。

補正予算

●一般会計（第4号）

1億9,243万7千円を増額

事務事業の執行にかかる

精算、地域農業推進基金、財政調整基金などの積立金、また、地域の活性化を図るための「きめ細かな交付金」に伴う事業及び坂本・利根里地区の基盤整備事業について翌年度に繰り越しするための繰越明許費などを主に補正をするもので、補正後の総額は40億9,134万6千円です。

●国民健康保険特別会計（第3号）

3,334万5千円を減額

保険給付費及び老人保健拠出金の減額並びに保健事業費の精算などを主に補正するもので、補正後の総額は11億5,793万2千円です。

●後期高齢者医療特別会計（第1号）

1,270万9千円を減額

決算を見込む中で保険料

及び広域連合への納付金の減額などを主に補正するもので、補正後の総額は9,329万1千円です。

●老人保健特別会計（第1号）

6万6千円を増額

2年間の清算期間が終了するため、余剰金を一般会計に繰り出すための補正をするもので、補正後の総額は106万6千円です。

●介護保険特別会計（第3号）

2,833万9千円を増額

保険給付費の伸び、介護予防事業費の精算及び平成21年度超過交付となった国・県支出金の返還金などを主に補正するもので、補正後の総額は10億92万8千円です。

●笠森霊園事業特別会計（第2号）

233万6千円を減額

歳出では人件費、光熱水費、委託料の精算による減額補正、歳入では事業収入の増額、財

政調整基金繰入金の減額などを主に補正するもので、補正後の総額は6,311万4千円です。

●農業集落排水事業特別会計（第2号）

4,860万円を減額

圏央道関連工事の遅れに伴う減額補正や前年度からの繰越金を繰り入れる補正をするもので、補正後の総額は2億1,302万6千円です。

●ガス事業会計（第2号）

収入では、工業用のガス使用量及び内管工事件数の減による減額、支出については原ガス購入費、委託作業費、受注工事費用及び人件費の減額補正をするもので、補正後の総額は、収益的支出5億3,824万8千円、資本的支出2億219万8千円です。

《道路線の変更》

町道改良に伴い坂本地先で2路線、須田地先で3路

線、豊原地先で4路線、計9路線について、変更するものです。

発議

◎長南町議会委員会条例の一部改正（丸 敏光、松崎 勲、今関文平衛、石井正己 議員提出）

議員定数が14名となるため、現在の3常任委員会のうち総務企業の名称を総務に変更し、定数は6名を4名とし、事業課ガス事業室を総務から除き、産業建設へ追加するほか、議会運営委員会の定数は7名を6名に、資格審査特別委員会及び懲罰特別委員会の定数は8名を7名に改正するものです。

◎議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（丸 敏光、松崎 勲、今関文平衛、石井正己 議員提出）

議員報酬の日割り計算による支給方法を明確化するため、改正するものです。

一般質問

金杉とみ 議員

町商店街区間の防災について

問 今、世界中で多発している自然災害は想像を絶し、その規模の膨大さに驚くばかりです。

過日、町商店街の中心部付近で発生した「その他火災」では、通行車両の前進、バック、方向転換、一切不可能で、消防活動にも支障、という大渋滞に私は、ただ、呆然と立ち尽くすのみでした。これが、住宅火災や、自然災害があった時、『人命は』と考えると、車両の進入規制が絶対必要と強く脳裏に焼き付いた次第です。

そこで住宅火災、自然災害時の場合、即座に迂回路の明示、車両進入禁止の看板設置を強く求めますがいかがですか。

町3ヶ年実施計画の最優先課題とする考えはあるか、伺います。



▲道幅の狭い町中の道路

交通誘導による片側通行で

答 町長

車両の通行止めは、区域が広範囲である上、多くの町民生活を制約し支障をきたす等の問題から非常に難しいと考えます。

西消防署、茂原警察署交通規制課の判断について

問 交通規制の方法について、2月15日、16日両署に伺い、火災当日の状況等説明した結果、自治体からの要請があれば、3者協議に応じてくださるとのご意見をいただきましたが、町としての考えを伺います。

消防署、警察署ともに有事の際には出動していろいろな状況进行处理していただくこと

お願いをしておきます

答 町長

消防署、警察署とともに有事の際には出動していろいろな状況进行处理していただくこと

となります。それぞれが職務として行うことでありますので、現場を見て適切な処理をしていただくようお願いをします。

自主防災の具体的な内容について

問 自分たちの町は自分たちで守るという強い連携意識で安心、安全な地域防災組織としておりますが、前述の様な渋滞では、いかに優秀な組織であっても安心、安全とは申せません。消防活動に支障なき体制が求められますが、組織の具体的な内容について伺います。

まずは集落単位から

答 町長

災害時にそれぞれが役割分担し、初期消火、被災者の救出、救助、情報の収集などを行うとして、平常時の中で備えていく。さらに行政区を単位に資機材等の購入及び活動費の一部を助成する中で、推進しているが、組織の設立には至っていないのが実情です。

自主防災組織とは

地域住民が連携し防災活動を行う組織のことをいいます。

日常は、①防災知識の普及啓発、②防災訓練や地域の防災安全点検の実施、③防災資機材の備蓄などの活動に取り組みます。

災害が発生した場合、①負傷者の救出、②初期消火活動、③住民の避難誘導、④避難所の運営などを行います。

地域住民が連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。



和田 和 夫 議員

救命救急センターへの負担について

問 九十九里地域医療センターに設けられる救命救急センターへの運営費が赤字になった場合、赤字の半分は東金市と九十九里町が負担、残りはセンター利用の患者数（率）に応じて周辺市町村に負担を求める支援要請に対する考えを伺います。

高額介護合算療養費等支給申請書は記入欄も狭く、書きにくくなっています。事務手続きも、自筆署名だけとする考えはないか伺います。

後期高齢者の県内健診率は、低い方から市原市、銚子市、茂原市、長南町で、3・42%から5・76%です。長南町の受診率が低いのは、受診できない状況にあるのではないのか伺います。

基本的には払うつもりはないが、郡内の意見統一を図ること

が大切

答 町長

救命救急センターは、地域の救急医療の拠点として、東金市及び九十九里町だけでなく、広く地域全体の救急医療を担う事になります。年間1億円程度の収入不足を支えてほしいとの事ですが、基本的には払うつもりはなく、郡内の意見統一を図ることが大切です。

後期高齢者の高額介護合算療養費等支給申請書の、住所氏名、電話番号記入欄の改善は、機会があつたら広域連合へ要望します。

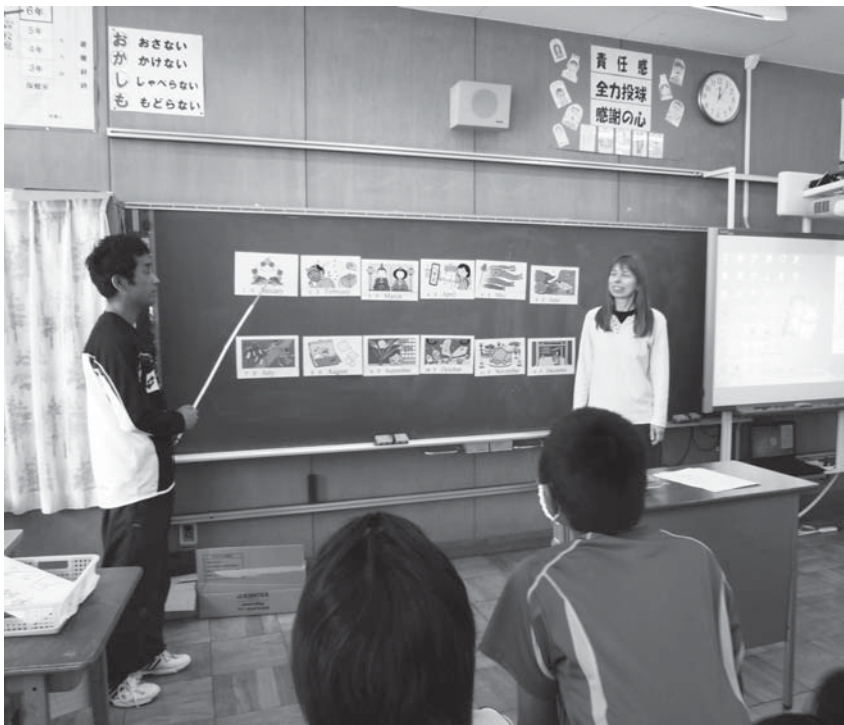
後期高齢者の健診は治療中を除いた希望者を対象者の分母に置きかえると、平成21年度56・04%、平成22年度78・79%です。平成24年度は受診対象者の考え方を検討し、受診率の向上をはかります。

小学校5、6年生の外国語活動について

問 学習指導要領が改正され、4月から小学校の5、6年生は外国語活動を年間35時間学びます。外国語活動は、英語に慣れることで、頭で理解するのではなく、活動を通じて体験的に学びます。誰が英語を教え、子

供たちとのコミュニケーションはどのように取りますか。担任や学校側が英語講師に直接指示を行うと、労働者派遣法に触れることになりませんが、連携はどうしますか。

講師と契約会社間で、労働関係法令の遵守を明示されない場合は契約を解除できるなどの条項を入れるようにする考えはあるか伺います。



外国語活動の様子 西小学校にて

担任が英語講師と連携して指導します

答 教育長

子供たちとのコミュニケーションは担任が取り、英語講師と連携して指導を行います。英語講師は日本語が話せ、理解もでき、担任教師の補助的な立場で指導します。

業務委託のため、指導計画、教育内容をあらかじめ提示してあり、適切な指導ができると考えています。

英語指導助手業務の委託契約は、労働保険及び就業規則等を遵守しており、来年度契約の際は、必要に応じて契約書や仕様書にも明示したいと考えています。

Let's study English.



丸島 なか 議員

救急医療情報キットについて

問 ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障害のある人たちが、保管する救急医療情報キットは、直径6センチ、長さ22センチの筒状の保管容器で、氏名や血液型、緊急連絡先、かかりつけ医や持病などの医療情報、診察券の写し、健康保険証の写しなどを入れ、どの家庭にもある冷蔵庫に保管をしておけます。65歳以上の高齢者や障害のある方、健康に不安のある方、さらに災害時には要援護者である方を対象に、本町でも救急医療情報キットの事業を行い、一人でも多くの人の命を守っていただきたい

救急医療情報キットとは

一人暮らしや家族のいないときに急病で倒れてしまった場合、救急車を呼ぶことまではできたととしても、自分の情報を救急隊員に提供することができないことがあります。その場合に対応するため、緊急連絡先やかかりつけ医、持病などの医療情報、薬剤情報などを記入した用紙を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておき、万一の救急時に救急隊員などがその情報を活用し迅速な救命活動等を行えるよう備えるものです。

いと思いますが、町の考えを伺います。

導入は時期尚早と考えます

答 町長

救急医療情報キットを家庭に備えて、緊急時に活用すれば、これは効果的なものと思われれます。しかし、悪用されることも考えますし、情報内容が変更になった場合の更新作業が随時適切に行われるか、あるいは民生委員などの協力を得なければならぬなど、十分検討を要するものと思われるので、現在のところ、導入は時期尚早と考えております。

住宅用火災警報器について

問 住宅用火災警報器は、煙を感じて火災発生を知らせる煙式と、熱を感じて知らせる熱式の2種類があり、耳の不自由な人のために光を発する機器などもあり、音以外の方法で火災を知らせることも可能で、消防庁の調査では、警報器の効果は明らかとのこと

です。警報器の全国普及率は、昨年12月時点では63・6%、千葉県では64・3%で、全国平均並みということです。我が町においての住宅用火災警報器の設置状況及び、高齢者のみの世帯、障害者、低所得者の世帯に補助をする考えはないか。また、一括購入と取りつけ事業について、町の考えを伺います。

設置率は48%程度

答 町長

住宅用火災警報器の設置率は、調査中ですが、146件中70件の設置で、48%です。

また、町が特定の火災警報器を購入し、それを一般世帯に販売したり、各地域

での共同購入を進めることは考えておりません。

独居老人世帯や高齢者2人世帯については、シルバ1人材センターを紹介し、有料で取りつけすることもできます。さらに町では協働を推進している関係で、ボランティアによる取りつけも紹介することも考えております。

また、生活保護世帯は、火災警報器の設置申請を行い、業者が取りつけた場合、生活保護費に取りつけ費用までを上乗せし、支給されることとなります。町では、いずれかの方法を活用し、速やかに設置していただけるよう周知してまいります。



▲火災警報器

メール配信について

問

火災情報を希望する人にメール配信する考えがあるか、伺います。

火災情報と不審者情報に限り配信予定

答 町長

火災情報メールの配信についてですが、当面は、火災情報と不審者情報に限り配信することを予定しております。

防火水槽について

問 防火水槽は、町内に幾つありますか。設置数の現状と今後の推進計画について伺います。

現在は84基、今後は必要に応じ設置

答 町長

防火水槽の設置状況について、22年4月1日現在、町内には防火水槽84基が設置されています。また、今後の設置計画は、3力年実施計画において、地元要望に基づき、平成25年度に1基の新設を予定しています。地元から設置要望が出された折には、防火水槽の設置基準に照らし合わせ、その必要性などを十分協議し、町の3力年計画に盛り込んでいきます。

なお、町では、防火水槽以外に、消防水利として、毎年、予算に消火栓2栓分を計上し、各地区に設置し、防火体制を整えています。

閉会中の継続調査報告書（要約）

集落営農について調査

（平成23年3月4日報告）

総務企業常任委員長 松崎 勲

議会各常任委員会の合同による議会閉会中の継続調査として「集落営農について」諸問題に関する調査研究を目的として平成22年11月5日・6日の2日間にわたり長野県上伊那郡箕輪町にある農事組合法人みのわ営農を視察いたしました。

箕輪町の営農組織の立ち上げ理由ですが、国は平成16年農業をめぐる環境の大きな変化に対応するため、新たな食料・農業・農村基本計画を策定し、今までの農家を対象としてきた支援対策を大幅に方向転換し、支援する基本を一定規模以上の経営体に限定したことがスタートの契機となりました。

こうした国の政策転換を踏まえ、箕輪町営農センターでは、「箕輪町としては、この課題にどのように対応する

か」について、集落営農研修会を開催し、箕輪町の農業を守るための集落営農のあり方の検討について、町をあげて着手しました。

その一つとして、平成17年10月には町内2,453戸の全農家に対して、集落営農に関するアンケート調査を実施し、1,687戸の回収結果（回収率・68%）となり、多くの農家から集落ぐるみで地域農業を守っていく組織づくりが必要であるとの声が寄せられ、平成18年1月には町長をリーダーとする箕輪町担い手総合支援推進協議会が設立され、国の品目横断的安定対策事業の受け皿となる組織づくりを進め、農業生産法人設立発起人会を経て12月には法人格をもつ農事組合法人みのわ営農が正式に設立されました。

組合員は、町内稲作農家の

約7割の582名が加入し、出資金は、1アール当たり一口100円（上限200口）とし、出資金総額は約300万円で発足し、JA上伊那からの出資も受けており、一法人としては長野県内の他の法人より加入率が高いとのことでした。

この組織は、国の農政転換に対応した受け皿組織として、また町内の荒廃農地の抑制と担い手育成の基盤づくりを担う組織として、更に農業機械投資を抑制し、うまい米づくりの組織に発展させるために取り組んでいる組織であります。

みのわ営農の仕組みは、
1 組合員は、米を生産し販売する農家が対象で、水田農家2,453戸中587戸、加入率24%となっている。
2 組合員の農地は、一元管理しており委託水田であっても草刈り、水管理などの維持管理は、地権者負担となっている。

3 みのわ営農はすべて作業を下部組織の5支部へ委託しており、作業料金を受け取るシステムとなっている。

4 転作補助金、助成金の受け入れなどの経理は、みのわ営農で一元化され、そこから組合員に配分している。
5 原則的に農地の集積はしていないが、最近、離農する農家が増加していることから、農地の集積要望により5年契約で直営圃場として管理している。

これらを踏まえて、本町では耕作放棄地の解消と農業の後継者問題を解決し農地を守るために十分協議を重ねていくことが重要であると痛感しました。



みのわ営農にて調査を実施

第1回臨時議会

一般会計補正予算を可決する

平成23年第1回臨時議会は、4月7日に招集されました。この臨時議会では、町長から一般会計補正予算の1議案が提出され、審議の結果原案どおり可決しました。

補正予算

●一般会計（第1号）
2,280万円増額

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の避難者を休館中のユートピア笠森を借用し、避難所として活用するための修繕費、維持費を主に補正するもので補正後の総額は41億6,580万円です。

問 避難期間は8月までとなっているが、その後の延長は考えているのか伺います。

答 期間にはこだわっていませんが、今後の状況をみて施設所有者と協議を行います。



議会を傍聴してみませんか

傍聴の手続きは、受付簿に住所、氏名などを記入するだけです。

町議会では、皆さんの生活に密着した問題が審議されますので、あなたも議会の傍聴にぜひお越しください。

平成23年第2回定例議会は、6月に開会されます。

日程等の詳しいことは、議会事務局(46-3390)へお尋ねください。

皆さんの声を町政に

議会では、町民の皆さんのご意見やご要望を町政に反映させたいと考えています。

議会に関するご意見や議会報を読んで感じたことをお寄せください。

お待ちしております。

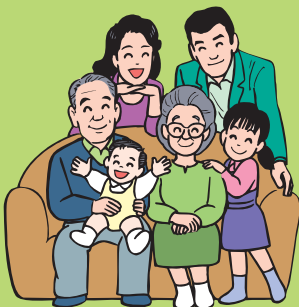
次回の議会報は、平成23年8月発行予定です。

TEL 0475-46-3390

FAX 0475-46-1214

e-mail: gikai@town.chonan.chiba.jp

長南町議会



議会活動日誌

平成23年

- 2/10 第1回長生郡市広域市町村圏組合議会定例会(14、22日)
- 2/15 議員全員協議会
- 2/17 議会運営委員会
- 2/18 九十九里地域水道企業団理事会
- 2/23 千葉県町村議会議長会定例会
- 2/25 第1回定例議会(～3/4日)
- 3/1 第1回予算特別委員会
- 3/3 第2回予算特別委員会
- 3/11 長南中学校卒業式
- 3/17 各小学校卒業式
- 3/25 保育所卒園式
- 3/30 第1回長生郡市広域市町村圏組合議会臨時会
- 4/2 保育所入園式
- 4/6 各小学校入学式
- 4/7 長南中学校入学式
議会運営委員会
第1回臨時議会
- 5/10 第2回臨時議会(初議会)
- 5/17 3市3町議会議長連絡協議会総会、
行政視察(～18日)
- 5/19 議会広報特別委員会
- 5/20 千葉県南部地区議会道路整備協議会総会
- 5/28 水防訓練

図書カードが当たります!

3つの答えの中から正しいものを選びハガキに書いてお送りください。「議会報」を読めば分かります。

クイズ No.71

問1 平成23年度長南町一般会計予算はいくらですか。

- A、39億4,300万円
- B、40億4,300万円
- C、41億4,300万円

問2 平成23年第1回臨時議会はいつ招集されましたか。

- A、2月25日
- B、4月7日
- C、5月10日

問3 常任委員会合同で研修視察した県は何県ですか。

- A、新潟県
- B、長野県
- C、栃木県

《応募方法》

ハガキに議会報の番号、答えの記号(例、問1 A)、住所、氏名、年齢、電話番号、職業(学校名)を記入のうえ応募してください。また議会報についての意見やご要望などを書き添えてください。全問正解者の中から、抽選で7名の方に図書カードをプレゼントします。

〒297-0019
長南町長南2-1-10番地
長南町議会事務局
締め切り平成23年6月30日
(当日消印有効)

前回の全問正解者数は、19名で正解は問1=B、問2=A、問3=Cでした。当選者の発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

深緑の候、野山もすっかり夏の装いへと変わりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。3月11日に発生した未曾有の東日本大震災に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災者の皆様には、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。今回の震災を通して多くの方が、これまでの『生き方』や『価値観』を考え直しているのではないのでしょうか。

町では、4月に議員選挙があり、新しい議員が多く誕生しました。広報委員のメンバーも新編成され、今後2年間研鑽を重ね皆様に愛される広報作りに委員一同努力してまいります。

ご意見、ご要望等ありましたら、お寄せください。

(丸島 なか)